

2014年7月1日
No 1446号
働くルールの確立で
人間性の回復を



発行先 明治乳業争議団
〒272-0015
千葉県市川市鬼高2-6-2
☎・Fax 047-332-5698
E-mail mjnyu88sgd@wing.ocn.ne.jp
HP 明治乳業争議団 ⇒ 検索



株主総会会場ホテル前で、宣伝行動

両社は2009年に経営統合を行い、「総合食品めざす」とし、売上高15兆円を目標に掲げましたが、統合の「相乗効果」は全く発揮されません。その後、2011年に事業再編を行い、90年代の歴史ある社名を変更し、明治乳業は菓子部門などを吸収して「株式会社明治」となり、一方

両社は2009年に経営統合を行い、「総合食品めざす」とし、売上高15兆円を目標に掲げましたが、統合の「相乗効果」は全く発揮されません。その後、2011年に事業再編を行い、90年代の歴史ある社名を変更し、明治乳業は菓子部門などを吸収して「株式会社明治」となり、一方

社長交代の今こそ 全面解決を決断すべき！

明治HDの株主総会が、6月27日に芝公園（ザ・プリンスパークタワー東京）で開催され、旧明治乳業出身の浅野茂太郎社長が会長職に退き、旧明治製菓出身の松尾正彦氏（MeijiSeikaファルマ社長）が、明治HD社長に就任しました。



株主総会に質問書を提出し 回答求める

明乳争議団と同支援共闘会議は、明治株主総会に向け、株主46名の賛同を得て「事前質問書」を準備。6月13日に明治HDを3名で訪問し、総務の長他2名に質問書の要旨説明を行いました。質問書の柱は、①経営不振の原因と経営責任について。②牛乳・乳製品の放射能汚染に

関する経営陣の認識及び対策。③負の遺産である労働争議の解決の三本です。しかし、27日総会での質問書への答弁は、放射能汚染数値公表問題でも、争議解決についても否定的な答弁に終始しました。

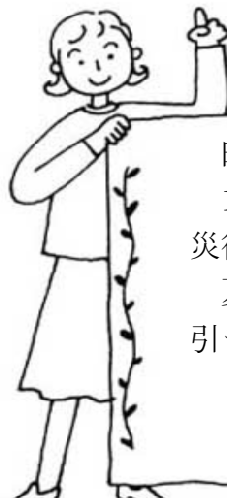
明乳争議と私

綴喜教職員組合
副委員長 谷田 健治



谷田さん
私自身も
言葉でも
ある。

京都の加藤さんとの出会いは、一九八八年、私が教職員組合の専従、一年目の年であった。それまで、明乳争議のことは全く知らずにいた。工場の門前で宣伝している工場の職制がやられてきて監視をする中、加藤さんは堂々とマイクを握り訴えていた。闘う労働者の姿を見、勇気ももらった。後に私の勤務した大住小学校からは、京都工場が見える。工場が目に入るたびに、加藤さんはあそこで一人、旗を掲げ闘っていると思うと何としても争議に勝利したいという気持ちになった。明乳という大資本に、ひるむことなく立ち向かっている加藤さんの姿は、地域の労働者に勇気を与え、励ます大きな力となっている。加藤さんの「このままでは終われない」という言葉は、今、私自身も言葉でも



夏季物品販売への協力をお願い

日頃から物心共々ご支援いただき感謝申し上げます。13年冬季物販を通して、皆様に、呼びかけさせていただきました震災復興への支援として、5,207円を全労連にお預けしました。夏季に於いても、還元金から5%を義援金として取り組んでいます。引き続きご支援ご協力をお願いします。

どうぞよろしくお願ひします。



「えさを運ぶイヌ」

「あつコロだつ」
2011年、避難から八ヶ月が過ぎた11月11日朝7時、TBSテレビを覗いた息子が叫んだ。テレビには、双葉町の森田商店前に一匹の犬が映されていた。動物写真家の太田康介さんが撮ったもので「えさを運ぶイヌ」の表題が書いていた。写真家は映像を追って説明を始めた。「もしもエサをくれるのかも…人を見るのは久しぶり…警戒の表情であった。缶詰のエサをあげるとダッシュして食べ、一瞬で5缶を飲み込んだ。食べ終わると走り出す。どこに行くのだろうと追っていくと、そこには雌犬がいた。吐き出して与えたのだ…人間もまねができない行動をしていたのだ…」
「コロ」は、いわきの鈴木さん（レスキューボランティア）宅に保護されていることがわかった。

あの時テレビは「ただちに健康に影響はありません」と繰り返して報道したが、世界最悪レベル7、ヒロシマに落とされた原子爆弾の500個分とも言われる放射線放出は9割が西風で太平洋へ、1割が内陸に向かったといわれる。半径20キロ圏内の住民全員が避難、そして3年が過ぎた今でも双葉町・浪江町、飯館村はゴーストタウン、人は住めない。それでも、「あなた」は「原発輸出・再稼働」というのですね…。

書籍紹介
「里山資本主義」感動します。
発行
株式会社KADOKAWA



子どもたちの安全と未来のために 放射能から命を守る銀座デモ



見てください旺盛に 集中して頑張っています。



5・29全労連・東京地評争議支援総行動



6月20日 京都・近鉄新田辺駅宣伝



株式会社明治 坂戸工場宣伝 6月19日



株式会社明治 埼玉工場宣伝 4月28日

明治乳業争議支援共闘会議と同争議団は6月21日、「内部被ばくから子どもたちの生命をまもろう」と訴えた銀座デモをおこない120名が参加しました。

同共闘会議は、食べものへの放射能汚染問題で榊明治や厚労省など行政機関に要請をくり返しており、デモはその一環としてとりくまれ今回で3回目です。

5月に発表された、福島県の子どもの対象にした甲状腺検査では50人が甲状腺がんであると確定。その疑いがある子どもを含めると89人にもなるという深刻さを増すなかで実施されたものです。

行動では、小関守・明治乳業争議団団長が「世代をこえた大問題。明治など牛乳会社は独自検査で基準値以下でも数値を公表し、消費者に製品を選ぶ権利を保障すること。行政は原乳の検査を酪農家単位でもおこない、製品汚染源を遮断する対策をとることが必要」と訴えました。

東京電力本社前では「原発再稼働反対」と唱和。明治ホールディングス前では、働く者の人権を守れない企業には食の安全を求める消費者の人権も守れないとして、長期労働争議の解決を訴えました。

土曜日の昼下がり、銀座通りでは声をかけたり拍手をする人が多くいました。

全国争議団活動を支える
「夏季募金」へのご協力を

都労委が全国9事業所32名に下した不当命令に屈せず闘っています。
中労委で、都労委命令を糺し一矢報いるために、首都圏・全国活動を支える資金を呼びかけさせていただいております。皆様方の心づくしをお願いします。

「明治乳業賃金昇格差別事件報告」

=中労委における第3回調査開かれる=



たたかう決意を述べる 支援共闘会議 松本議長

証人申請までの段取りについて

去る、5月15日、中労委に於いて全国事件の第3回調査が開かれました。申立人らは再審査申立書の提出以降、都労委の異常な判断構造と、審問で明らかになった事実の検証すらしない杜撰な命令の内容などを整理し、本件が取り消しを免れない事案であることを具体的に解明した補充書及び準備書面などを提出してきました。

一方、会社は、既に最請求に加えたので、中労高裁まで争って不当労働委からも強く求めて欲しい旨を請うました。審査委員は、会社に対して反論書の提出に加え、申立人ら提出の「資料開却下を求める準備書面を示請求」について7月末提出してきました。審査までに書面で回し、委員は提出された書面の答をするよう促し確認及び、これから提出しました。また、予定の書面などについて「資料開示」に實質し、再審査申立人らは、いての検討も必それぞれ「陳述書」及要との考えを示し準備書面(3)を作成した上で、次回中であり、今後、順次提出(8月18日、13時出)し7月末までには済ませ(9月30日、10時)せることを確認しました。(9月30日、10時)さらに、会社が相对比较(9月30日、10時)抜きのアラ探し立証に用(9月30日、10時)いた「報告書」について、このような進(9月30日、10時)申立人ら以外の従業員の(9月30日、10時)「報告書」を新たに開示(9月30日、10時)と、次々回での(9月30日、10時)

調査では証人の絞り込みが行われ、早ければ10月頃から証人尋問が開始されるのが予想されます。争議団と支援共闘は、都労委の異常命令の取り消しをこの中労委において何としても勝ち取って早期の解決を実現すべく、申立人ら居住地における工場(駅頭)宣伝行動や中労委に対する公正・適正な命令を求める団体署名の取り組みなどを強めています。

皆さんの一層のご支援とご協力をお願いします。

当該を代表して挨拶する小関団長